

本 会 記 事

I. 平成 24 年度第 1 回評議員会議事録

日 時：平成 24 年 11 月 17 日（土）14:00～17:00

場 所：日本植物防疫協会事務所 地階会議室

評議員出席者：

相野公孝, 秋光和也, 阿久津克己, 荒瀬 榮, 有江 力, 畔上耕児, 築尾嘉章, 曳地康史, 平塚和之, 廣岡 卓, 石黒 潔, 石川成寿, 岩井 久, 景山幸二, 金山晋治, 川北一人, 北 宜裕, 近藤則夫, 久保康之, 桑田 茂, 増田 税, 松永 礼, 森田健二, 難波成任, 夏秋啓子, 夏秋知英, 西口正通, 西尾 健, 大木 理, 大島一里, 尾谷 浩, 佐野輝男, 高橋英樹, 高橋賢司, 高松 進, 瀧川雄一, 田代暢哉, 寺岡 徹, 土佐幸雄, 土屋健一, 津田新哉, 柘植尚志, 對馬誠也, 吉川信幸, 奥野哲郎会長, 百町満朗副会長, 濱本 宏庶務幹事長, 根岸寛光庶務副幹事長

以上評議員 48 名（定数 53 名, 欠席：白石友紀, 田中文夫, 古屋廣光, 長谷川裕, 仲川晃生）

幹事出席者：

齋藤憲一郎会計幹事, 小松 健副会計幹事, 宮田伸一庶務幹事, 芦澤武人庶務幹事

開会の挨拶（奥野会長）

1. 審議事項

(1) 平成 25 年度功績者の推薦について

欠席の白石功績者推薦委員長に代わり奥野会長から名誉会員に道家紀志, 日比忠明, 堀野 修, 米山勝美の各氏を推薦することが提案され, 承認された. 永年会員に尾崎武司, 周藤靖雄, 土屋貞夫, 与那覇哲義の各氏を推薦することが提案され, 承認された.

(2) 平成 25 年度論文賞の選考について（大島編集委員長）

以下の 2 編が論文賞候補として推薦され, 承認された.

Izumi Chuma, Yuma Hotta, Yukio Tosa. Instability of subtelomeric regions during meiosis in *Magnaporthe oryzae*. J. Gen. Plant Pathol. 77: 317–325 (2011).

Susumu Mochizuki, Ken-ichiro Saitoh, Eiichi Minami, Yoko Nishizawa. Localization of probe-accessible chitin and characterization of genes encoding chitin-binding domains during rice-*Magnaporthe oryzae* interactions. J. Gen. Plant Pathol. 77: 163–173 (2011).

(3) 平成 25 年度学会賞および学術奨励賞候補者の選考について（奥野賞選考委員長）

これまでの選考過程の説明の後に, 学会賞について次の 3 氏が推薦され, 承認された. (ABC 順)

- 石川成寿氏「生物農薬の開発ならびにイチゴ炭疽病に対する環境に配慮した防除技術の構築」
- 夏秋啓子氏「熱帯作物の病害に関する研究」
- 大島一里氏「カブモザイクウイルスの分子進化的研究」学術奨励賞について次の 3 氏が推薦され, 承認された. (ABC 順)
- 中馬いづみ氏「いもち病菌における抵抗性遺伝子応答機構に関する研究」
- 小松 健氏「ウイルス感染防御応答による全身壊死誘導の分子機構に関する研究」
- 宇佐見俊行氏「*Verticillium dahliae* の寄生性分化に関する研究」

(4) APPS との学生交流について（夏秋国際対応委員長）
Australasian Plant Pathology Society (APPS) との国際交流で, 2013 年 4 月末から 2 年間に学生を交互に 2 名ずつ派遣する計画と学会からの資金援助を行うことについて提案され, 承認された.

(5) JGPP 誌出版の競争入札について（濱本幹事長）

JGPP 誌の出版については, シュプリンガーとの契約の 2013 年 12 月の自動更新を解除し, 2014 年からの出版について競争入札を行うが, 業者選定後に生ずる可能性のある, 投稿システムの切り替えなどの業務について詳細な検討が必要なことから, 入札への対応を編集委員会と幹事会が合同で取り組むことが提案され, 承認された.

(6) 学術の大型研究について

日本学術会議会員の上田一郎氏より, 日本学術会議から 2013 年 2 月に公募される「第 22 期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープランの作成」について紹介された. 正式な連絡を待ち, 対応を検討することが確認された.

2. 報告事項

(1) 平成 25 年度副会長選挙結果の報告（奥野会長）

平成 25 年度副会長選挙において土屋健一氏が選出されたことが報告され, 土屋健一氏から挨拶があった.

(2) 第 11 回日本農学進歩賞の報告（奥野会長）

第 11 回日本農学進歩賞を, 本会が推薦した山次康幸氏が受賞したことが報告された. また, 本会会員・日本土壤微生物学会会員の川口 章氏も受賞したことが報告された.

(3) 100周年記念事業について(難波100周年記念事業実行委員長)

第4回実行委員会において審議された実行委員会の体制、今後の作業計画、英文レビューと和文総説執筆の進行状況、日本植物病理学100年史のページ配分と執筆者案について報告された。大島一里氏から英文レビューの投稿締切りは、JGPP誌に掲載するまでのスケジュールを決めているので期限を守ってほしいとの連絡があった。上田一郎氏よりシンポジウムの準備状況について報告された。

(4) 平成24年度大会・部会報告(奥野会長)

11月までの行事として大会と各部会を行ったことが報告された。

(5) 平成24年度談話会・研究会の報告(奥野会長)

11月までの行事として各談話会・研究会を行ったことが報告された。

(6) 第8回教育プログラム報告

西口正通氏より、本年度の教育プログラムは参加者34名のもと行われたことが報告された。

(7) 編集委員会報告(大島編集委員長)

2011年にインパクトファクターを獲得したことにより、海外からの投稿数が顕著に増加していることが報告された。100周年記念事業の一環としてJGPP誌へ掲載される予定の英文レビューや和文誌の談話会レビューにより事務作業が増えるが、当面現在の編集委員会の体制で対応することが報告された。

(8) 技術士対応委員会・五学会技術士育成推進委員会報告(難波技術士対応委員長)

本年の技術士試験合格者は12名であること、大会期間中に行われた試験対策セミナーは75名が参加したことが報告され、来年にも同セミナーを行うことが報告された。また、技術士試験の見直しが検討されており、共通科目と技術的体験論文の廃止や選択科目の統廃合の検討が行われていることが報告された。

(9) 国際対応委員会報告

夏秋啓子国際対応委員長より2013年に開催される国際会議の予定等が報告された。また、奥野会長より韓国植物病理学会50周年記念式典への出席について報告された。

(10) 果樹のウイルス・ウイロイド・ファイトプラズマ病害の国際会議について

吉川信幸氏より果樹のウイルス・ウイロイド・ファイトプラズマ病害の国際会議が盛岡で、2015年に開催される予定であることが報告された。

(11) 日本微生物学連盟報告

柘植尚志氏より「デュアルユース問題とBLS4施設シン

ポジウム」が12月に開催されることが報告された。

(12) 平成25年度大会(岐阜大)準備状況報告(百町副会長)

大会資料に基づき説明がなされ、特に岐阜駅周辺に宿泊施設が少ないので留意してほしい旨報告があった。また、菌類学名の命名規約が変更されるが、今後の動向をふまえて講演要旨作成等については柔軟に対応することが報告された。

(13) 会員のご逝去

会員のご逝去について報告された。

(14) その他

- ・吉川信幸氏より、植物ウイルス分類委員会が「日本に発生する植物ウイルス・ウイロイド」を編集したことが報告され、ホームページに掲載することとなった。
- ・濱本幹事長より会員管理システムの更新について、基本仕様は変わらないが「会員専用ページ(マイページ)」が新たに設定され、会費納入の確認、大会参加発表の申込みおよびオンライン投票等の機能を今後付加する計画であることが報告された。
- ・濱本幹事長より、日本植物防疫協会が一般社団法人への移行に伴い「学会に対する支援要領」を制定し、学会との間で覚書を取り交わし、これに基づき今後もこれまで通りに学会活動に対する支援をいただけることが報告された。
- ・濱本幹事長より、本学会、日本農薬学会、日本応用動物昆虫学会の間での連携に関する現在の取り組みについて報告された。本学会としてのメリットを精査した上で今後の連携方針を決めることが確認された。
- ・小松幹事より、科学研究費補助金・研究成果公開促進費の種目「学術定期刊行物」が「国際情報発信強化」へ変更されることが報告され、学会誌の電子ジャーナル化を含め今後の国際化等への取り組みを検討する必要を確認した。また、本会は補助金の期間が2014年までであるため、2015年に向けた応募の際の課題となる。
- ・近藤則夫氏より平成26年度大会は、増田 税大会委員長により札幌コンベンションセンターで開催される予定であることが報告された。

II. 平成24年度第2回日本農学会運営委員会議事録

日時:平成24年9月12日(水)15時00分~16時00分

場所:東京大学農学部3号館 4階大会議室

出席者:大熊幹章会長, 磯貝 彰副会長, 三輪睿太郎副会長, 河鱈実之(園芸/農機(代))/立石 亮(園芸), 福山泰治郎(砂防), 土田志朗(実農), 窪野高徳(樹医), 中嶋正敏(植調), 大貫靖浩(森立), 岩田洋佳(育種),

北村義明 (応糖科), 石川幸男 (応動昆 (代)), 小川 博 (家禽), 鴨下顕彦 (作物), 勝間 進 (蚕糸), 黒川俊二 (雑草 (代)), 金井克晃 (獣医), 濱本 宏 (植病), 小島克己/益守真也 (森林), 濱田奈保子/大久保範聡 (水産), 大黒俊哉 (造園), 山内啓太郎 (畜産), 長谷川晃久 (動遺育), 柳澤修一 (土肥), 坂本一憲 (土微), 真田篤史 (熱農), 河野恵伸 (経営), 荒幡克己 (経済), 西山 真/佐藤雄一郎 (農化), 浅見忠男 (農薬 (代)), 杉浦幸二 (繁殖), 中嶋康博 (フード), 大倉利明 (ペドロ), 五十嵐圭日子 (木材), 細井文樹 (農情 (代)), 吉田修一郎 (農村工), 井上雅文 (木質), 黒住圭子 (事務担当)

欠席者: 白木克繁 (砂防), 吉迫 宏 (シス農), 吉本 敦 (森計), 加藤 茂 (海水), 山下哲平 (国地開), 松村一膳 (砂丘), 高橋新平 (芝草), 内田和幸 (獣医), 酒井久治 (水工), 安永円理子 (生環), 石川尚人 (草地), 入江彰昭 (造園), 小澤壯行 (畜産), 大谷 卓 (土肥), 横山 仁 (気象), 高垣美智子 (農作), 川越義則 (農施), 中嶋 勇 (農村工), 八木洋憲 (農計), 山本伸幸 (林経), 渡辺敦史 (林育)

議長: 大熊会長

議 事:

1. 平成 24 年度第 1 回日本農学会運営委員会議事録 (案) の承認について
2. 平成 24 年度 (第 83 回) 日本農学大会の報告
3. 平成 24 年度日本農学会シンポジウムの準備状況について
4. 平成 25 年度日本農学賞受賞候補者の推薦および平成 25 年度日本農学会評議員会について
5. 平成 25 年度常任委員担当学会について
6. 平成 25 年度シンポジウムテーマについて
7. その他

配布資料

1. 平成 24 年度第 1 回運営委員会議事録 (案)
2. 平成 24 年度日本農学大会概要報告
3. 平成 24 年度日本農学会シンポジウムプログラム (案)
4. 平成 24 年度日本農学会シンポジウム案内 (配布用)
5. 平成 24 年度日本農学会シンポジウムポスター配布内訳
6. 平成 24 年度日本農学会シンポジウム成果概要出版目次
7. 平成 23 年度シンポジウム成果概要出版
「環境の保全と修復に貢献する農学研究」チラシ
8. 平成 25 年度日本農学賞推薦依頼・推薦書類一式
9. 平成 25 年度評議員会開催案内
10. 日本農学会役員一覧

11. 平成 25 年度常任委員割り当て表
12. 平成 25 年度シンポジウムテーマ
13. 平成 24 年度シンポジウムポスター

議事 1. 平成 24 年度第 1 回日本農学会運営委員会議事録 (案) の承認について

山内庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

山内庶務担当常任委員より前回議事録 7. その他 (3) 科研費補助金について, アンケートによる加盟学協会の申請・採択状況調査をする予定だったが, その後「学術定期刊行物」から「国際情報発信強化」と名称が変わり内容・金額が大幅に変更, 今までの採択状況を調べても今後の参考にはならないと思うので, 今後の状況を見て進めていきたい旨報告があった。

議事 2. 平成 24 年度 (第 83 回) 日本農学大会の報告

山内庶務担当常任委員より資料に基づき報告があった。

議事 3. 平成 24 年度日本農学会シンポジウムの準備状況について

立石企画担当常任委員より資料に基づき準備状況, 広報活動および成果概要出版について説明があり, 了承された。

10 月 13 日のシンポジウムへの参加のお願いがあった。

議事 4. 平成 25 年度日本農学賞受賞候補業績の推薦および平成 25 年度日本農学会評議員会について

山内庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。加盟学協会宛の推依頼はすでにメールにて送信済み。推薦締切は 11 月 27 日。評議員会は来年 1 月 25 日開催であり, 予定しておいて頂く旨お願いがあった。

評議員・運営委員一覧は最新のものであるが, 名前, 所属等に訂正・変更があった場合は事務局の方へ連絡してほしい旨お願いがあった。

議事 5. 平成 25 年度常任委員担当学会について

山内庶務担当常任委員より現在の常任委員の担当のルールについて, 2,000 名以上の学会で回るサイクルと 50 学会で回るサイクルの説明があった。現在 2,000 名以上の学会の負担が大きいため, 2,000 名以上の学会のサイクルと残り 40 学会 (2,000 名以上を抜いて) で回るサイクルに変更したい旨説明があり了承された。今後は 2,000 名で区切りのか, 1,800 名, 1,500 名にするのかは検討事項として議論していきたい。また, 今後何年後までは常任委員担当学会を内定し会員数に変更になっても受けていただく等, ルールをきちんと決定したい旨説明があった。

平成 25 年度の常任委員は変更なく担当学会にお願いする。

議事 6. 平成25年度シンポジウムテーマについて

大貫企画担当常任委員より資料に基づき、「産学連携による農林水産業の六次産業化に向けたさまざまな取り組み」の内容で進めていく旨説明があり了承された。今後企画委員として、日本農業経済学会、日本作物学会、日本フードシステム学会、日本畜産学会、日本水産学会、日本木材学会、農業農村工学会、日本農芸化学会等にご協力をお願いがあった。11月上旬に企画委員会を開催する予定で進めている旨報告があった。

その他

1) 世界工学会議について

山内庶務担当常任委員より資料に基づき、2015年11月30日、京都国際会館にて開催。大熊日本農学会会長が国内組織委員に就任したことの報告があった。

2) 日本農学賞受賞候補者の推薦について

大熊会長より昨年は推薦者が少なかったため、今年は各学会より多くの推薦をして頂きたいとのお願いがあった。

III. 平成24年度第3回日本農学会運営委員会議事録

日時：平成24年12月13日（木）15時00分～16時00分

場所：東京大学弥生講堂アネックスセイホクギャラリー

出席者：大熊幹章会長、磯貝 彰副会長、三輪睿太郎副会長、河鱈実之（園芸）/立石 亮（園芸（熱農代））、吉迫 宏（シス農）、窪野高德（樹医）、中嶋正敏（植調/農薬（代））、大貫靖浩（森立）、岩田洋佳（育種）、北村義明（応糖科）、岩淵喜久男（応動昆）、加藤 茂（海水）、小川 博（家禽）、鴨下頭彦（作物）、嶋田 透（蚕糸（代））、黒川俊二（雑草（代））、金井克晃（獣医）、小島克己/益盛眞也（森林）、濱田奈保子/大久保範聡（水産）、石川尚人（草地）、大黒俊哉（造園）、山内啓太郎（畜産）、長谷川晃久（動遺育）、大谷 卓（土肥）、坂本一憲（土微）、横山 仁（気象（代））、西村和志（経営（代））、荒幡克己（農経）、西山 真（農化）、杉浦幸二（繁殖）、大倉利明（ペドロ）、五十嵐圭日子（木材）、牧野義雄（農機（生環（代））、川越義則（農施）、吉田修一郎（農村工）、八木洋憲（農計）、相馬智明（木質（代））、黒住圭子（事務担当）

欠席者：福山泰治郎/白木克繁（砂防）、土田志朗（実農）、吉本 敦（森計）、山下哲平（国地開）松村一膳（砂丘）、高橋新平（芝草）、内田和幸（獣医）、濱本 宏（植病）、酒井久治（水工）、入江彰昭（造園）、小澤壮行（畜産）、柳澤修一（土肥）、佐藤隆一郎（農化）、高垣美智子（農作）、中嶋康博（フード）、中村典裕（農情）、中嶋 勇（農村工）、山本伸幸（林経）、渡邊敦史（林育）

議長：大熊会長

議事：

1. 平成24年度第2回日本農学会運営委員会議事録（案）の承認について
2. 平成24年度事業報告（案）
 - (1) 平成24年度シンポジウムの報告および出版関連
3. 平成24年度収支決算報告（案）
4. 平成25年度事業計画（案）
 - (1) 平成25年度シンポジウム実施計画案
5. 平成25年度収支予算計画（案）
6. 平成25年度評議員会について
7. 平成25年度評議員・運営委員・常任委員について
8. 平成25年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順
9. その他
 - 1) 退会・入会届
 - 2) その他

配布資料：

- ・平成24年度第2回日本農学会運営委員会議事録（案）
- ・平成24年度事業報告（案）
- ・平成24年度シンポジウムの報告および出版関連
- ・平成24年度収支決算報告（案）
- ・平成25年度事業計画（案）
- ・平成25年度シンポジウム実施計画案
- ・平成25年度収支予算計画（案）
- ・平成25年度日本農学会正会員数
- ・平成25年度評議員会開催案内
- ・平成25年度評議員出欠票・委任状
- ・平成25年度評議員・運営委員・常任委員について
- ・平成25年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順
- ・退会届・入会届
- ・常任委員割当て表
- ・常任委員割当て表（案）

議事 1. 平成24年度第2回日本農学会運営委員会議事録（案）の承認について

山内庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

議事 2. 平成24年度事業報告（案）

山内庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。平成24年度のシンポジウムについての報告、出版書について説明があった。

議事 3. 平成23年度収支決算報告（案）

西山会計担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

議事 4. 平成 25 年度事業計画 (案)

山内庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。シンポジウムについては担当の大貫企画担当常任委員から追加説明があり了承された。

- (1) 日本農学 80 年史を農学部系図書館・農業大学等に寄贈する。
- (2) 平成 25 年度シンポジウム実施計画 (案)

なお、(2) シンポジウム内容・講演者については評議員会までには大筋を決定するので承認して欲しい旨説明があった。

議事 5. 平成 25 年度収支予算計画 (案)

西山会計担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

会員数の減少によって分担金収入が若干減っている状況の説明があった。

日本農学 80 年史について寄贈する方向で通信費を計上している旨説明があった。

議事 6. 平成 25 年度評議員会について

山内庶務担当常任委員より資料に基づき、日時、議題、日本農学賞選考会について説明があった。評議員会審議事項として評議員交代にともなう監査委員 1 名の選出がある旨報告があり了承された。

議事 7. 平成 25 年度評議員・運営委員・常任委員について

山内庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり、平成 25 年度常任委員 6 名のうち 3 名を前年度に引き続き、森林立地学会、日本育種学会、日本糖質科学会、新たな 3

名を、(公社)日本造園学会、(社)日本土壤肥料学会、(公社)農業農村工学会からそれぞれ選出してもらうことで了承された。

議事 8. 平成 25 年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順

50 音順に抽選を行い、次の通り確定した。

1. 日本繁殖生物学会 2. 日本応用糖質科学会
3. (公社)農業農村工学会 4. (社)日本土壤肥料学会
5. 農業施設学会 6. 日本生物環境工学会
7. 日本育種学会 8. 日本農薬学会
9. (公社)日本獣医学会 10. (公社)日本農芸化学会
11. (公社)日本畜産学会 / 日本家禽学会
12. 砂防学会 13. (社)日本森林学会

その他

- 山内庶務担当常任委員より、林木育種学会からの退会届、日本木材加工協会から入会届が提出された旨報告があった。
- 常任委員割当てについて今までのルールだと 2,000 名以上の学会の負担が大きいのので少し会員数の線引きを見直したい。上位 18 学会とそれ以外 (32 学会) に分け、それぞれのサイクルで常任委員を引受けていただく案を説明し了解された。平成 36 年度までの常任委員担当学会のサイクルを至急作成して各学会にお知らせする。
- 評議員会の日本農学賞選考会は 12 時 30 分からになる旨お知らせがあった。